青雲の鬼（1957）

メディア 映画
ジャンル
製作国 日本
色彩 B&W
時間 87分
初公開日 1957/02/12

【解説】
山手樹一郎の同名小説を「りんどう鴉」の八住利雄が脚色し「朱鞘罷り通る」の河野寿一が監督した。中村錦之助が恋と剣に大活躍を見せる青春時代劇。
遠州浜松の浪人、早水東吾は青雲の志を抱いて江戸に向かっていた。盗賊による埋蔵金探しを生業とする捨吉と、深川蕎麦屋の娘お袖も一緒だ。旅の途中で頭巾をかぶった男に襲われる武家娘の千鳥を救い出すことに成功するが、彼女が待ち合わせをしていた父の松浦石見守は小田原宿で殺害。父の後妻である萩江には組下与力の石垣綱右衛門という父がおり、彼は天草屋と結託して悪事の限りを尽くした上、石見守を殺害したのだという。話を聞いた東吾は千鳥を助け天草屋を倒すことを決意。東吾は千鳥が以前襲われた頭巾姿の男に再び襲われるが、その男の正体が天草屋の部下であることを知り…。

【クレジット】
監督 河野寿一
企画 原信光
原作 山手樹一郎
脚本 八住利雄
撮影 坪井誠
美術 吉村晟
音楽 小杉太一郎
出演 中村錦之助
長谷川裕見子
星美智子
三島雅夫
原健策
月形龍之介

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.